

TIAOZHAN RIYU KOUYU

主 编 赵 平

副主编 阿部治平 李 玲

中 级 篇

挑战

日本語会話への挑戦

日 语 口 语



会 话
解 说
练 习
翻 译

中国科学技术大学出版社

中级篇
日本語会話への挑戦

挑战日语口语

主 编 赵 平 副主编 阿部治平 李 玲



会 话

解 说

练 习

翻 译

图书在版编目(CIP)数据

挑战日语口语·中级篇/赵平主编. —合肥:中国科学技术大学出版社,
2005. 10
ISBN 7-312-01844-0

I. 挑… II. 赵… III. 日语—口语 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 122874 号

挑战日语口语·中级篇 赵平 主编

中国科学技术大学出版社出版发行
(安徽省合肥市金寨路 96 号, 邮编: 230026
电话: 0551-3602905 传真: 0551-3602897
网址: <http://www.press.ustc.edu.cn>)

合肥学苑印务有限公司印刷
全国新华书店经销

开本: 787mm×960mm 1/16 印张: 12.75(+2.375) 字数: 291 千
2005 年 10 月第 1 版 2005 年 10 月第 1 次印刷
印数: 1—5000 册

ISBN 7-312-01844-0/H·360

定价: 25.00 元(含配套练习答案、录音光盘)

序

伊藤茂

神戸学院大学教授

中国戏剧学院特聘教授

いま、この書を手にする読者は、すでに「初級編」を学び終えているだろう。そして自由自在とは言わないまでも、自分の意思を日本語でかなり伝えることができるにちがいない。だから、みなさんはどんどん日本人に話しかければいいと思う。中国語では“声調”が不十分なら、もうそれだけで相手は首を傾げるばかり、すこしは聞き取ってくれよ、と言いたくなるのだが、日本語は不思議な言語で、ちょっと発音があやしくても、文法が守られていなくても、予想以上に理解してもらえる。自分の言いたいことが伝われば学ぶことが面白くなり、また上達も早まる。

さて、本書は「中級編」である。「中級」になると、じわりと難度が上がる。その難しさは漢字の読み方の複雑さや敬語表現の微妙さなど、よく知られたものではない。たとえば、「公園で桜が美しく咲いています」といった「正しい」表現を、日本人はどうも会話で使わないらしい、と気づかされるようなことである。おそらく多くの日本人は「公園の桜、きれいです」と言うだろう。あるいは「桜、公園の、きれい!」とせっかちに言うかもしれない。日本語の生きた会話とはそういうものである。

昔、日本の知識人たちは公的な文書を書くとき漢文(古典中国語)を使っていた。そのほうが簡潔で正確な文章が書けるからである。同時に私的な、愛を打ちあけるとか世のはかなさを嘆くときには和文でなければならなかった。繊細な気持ちの表現は日常

口語の担当だったのである。そのような公私の使い分けは、明治時代まで残る。1880年代になってようやく「言文一致」が提唱され、「書くように話し、話すように書く」が日本語表現の理想となった。以来、先人たちの労苦のおかげで、私たちはずいぶん平明な日本語が書けるようになってきている。だが、まだ理想にはほど遠い。

口語表現の複雑さ、変化の激しさに文章日本語が追いつかないのだ。当然ながら、日本人は豊かなニュアンスを持つ口語表現の中で話し、聞き、気持ちを伝達しあっている。そして一方、海外の日本語学習者はその生活感にあふれる生き生きとした口語表現の習得にとっても苦労すると思われる。会話にある微妙な機微を察知する力を養う機会が少ないからである。事務的な文章をいくら学んでも身につくものではなく、もちろん留学すれば手っ取り早いのだが、そんな恵まれた環境は容易に手に入るものではない。

しかし、趙平さんと李玲さんの「日本語会話への挑戦」は、そういう環境を書物で実現してしまった稀有な教科書ではないだろうか。そのことはすでに読者がいちばんよくご存知のはずである。

どの言語にもあてはまることだが、日本語の表現の背後には日本人ならではの発想がある。そして整った文章より、破格の多い口語の方に多くあらわれる。それは、言葉の背後にある話者の意図をすばやく察してしまう気配りかもしれない、言葉が足りなくてもわかりあえると考える独りよがりかもしれない。いずれも日本人が生み出した言語文化なのだろう。それが理解できれば日本語はもっとわかりやすくなるはずだ。そのためのヒントが、この教科書には満載されている。「日本語会話への挑戦」に導かれて、読者の努力はきっと実を結ぶにちがいない。

序

伊藤茂

神戸学院大学教授

中国戏剧学院特聘教授

翻开这本书的读者，您可能已经学完了它的《初级篇》。而且，即便还谈不上谈吐自如，但您在很大程度上一定能够用日语表达自己的意思了。那么，你不妨找日本人多多进行会话练习。日语就是这样一种语言，哪怕你的发音有点儿怪，不守语法规则，只要你说出口，被人理解的程度会远远超出你的想象。这也许是和汉语不太一样的地方。因为倘若汉语的四声说得不标准，仅这一点就会让对方费猜测，自己也只能在那儿干着急。一个人学语言，当发现自己想说的意思能传达给对方时，学习的兴趣自然就会浓厚，提高的速度也会加快。

本书是《中级篇》。学到“中级”，难度自然加大。其实日语的难度并不在于那些大家常说的汉字读音的复杂啦、敬语意思的微妙啦之类的东西。例如像「公園で桜が美しく咲いています」这样一个“正确”的句子，你会注意到它可能不会出现在日本人的日常口语中。多数日本人大概会说成：「公園の桜、きれいです。」性急的人甚至会说成：「桜、公園の、きれい！」——活生生的日语口语就是这样的。

过去，日本的知识分子撰写公文，使用的是“汉文”（古代汉语）。因为用汉文能写出简洁而又准确的文章。但是在表达个人情感、感叹人世无常时非用“和文”不可。细腻感情的表达则是日常口语的职份。这种语言使用上的公私有别一直延续到明治时期。到了19世纪80年代，“言文一致”被提倡，“怎样写就怎样说，怎样说就怎样写”才成了日语的理想境界。在先人们的努力下，我们终于可以写出相当明晰易懂的日语了。不过，这与理想的日语距离还很遥远。

文章体的日语及不上口语表达的复杂性和变化的快速性。日本人是在具有丰富语感的口语环境中说话、倾听、交流的，而身居日本之外的

日语学习者在如何学到充满生活气息的、活生生的口语方面却总是备感辛苦。因为身边很少有机会可以让你们去培养那种察觉会话中微妙意蕴的感觉,而这一点不是学过一些循规蹈矩的文章所能够获得的。当然,如果来日本留学,一切就不成问题了。但是,这样的机会并不易得。

赵平和李玲的《挑战日语口语》,可以说是把日语的语言环境搬进了书里,因此它是一种非常难得的日语学习教材。对于这一点,我想广大的读者们一定早有所知。

日语的背后隐含着日本人特有的思维和感知方式。当然,无论哪种语言都有这样的特点。而且,比起规规矩矩的文章,这一点在不拘一格的口语中更多地被显现出来。它或许来自于对说话人话语背后的意图的瞬间察觉,或许出于对“虽然词不达意却能够相互理解”的境界的偏好。而这些,可以说也正是日本人酝酿出来的语言文化。明白了这一点,对日语也就更容易理解了。这本教材给大家提示了许多理解日语文化的窍门。跟着《挑战日语口语》学下去,你的努力一定会开花结果!

(吴琦来译)

前 言

本书是《挑战日语口语·初级篇》的续篇。本系列“高级篇”亦将编写完成。其后，还将延续出“商务篇”等等，这是一套完整的日语口语系列教材。

两年前，赵平卧在医院的病床上完成了《挑战日语口语》（中国科学技术大学出版社出版）。起初，他本想编写一册供有一定日语基础的人学习的日语口语教材，然而由于病情险恶，他抱着最坏的打算写作，在书中不遗余力地注了其智慧，结果，《挑战日语口语》与初衷相违，成了难度颇高、非有大学日语专业3~4年级程度者难以啃得动的“硬骨头”。

鉴于此，朋友们建议赵平重新编写一本入门程度的教材，作为学习《挑战日语口语》的基础铺垫。出院以后，赵平病情趋于稳定，于是在编写《日语文学作品读解与翻译》（中国科学技术大学出版社出版）的同时，他又主持编写了《挑战日语口语·初级篇》（中国科技大学出版社出版）。本书是在初级篇完稿之后，由阿部治平、颜欢、熊玉娟、赵康英、中上彻也等中外学者协同努力，用了半年多时间编写完成的。

《挑战日语口语》与其他日语口语教科书最大的不同在于它的口语素材来自于实际生活，并且由中国人收集编写。它的课文部分内容风趣幽默，以此可避免语言学习中的枯燥；它的语言不拘一格，完全打破了一般教科书语言上的“循规蹈矩”和“彬彬有礼”。音便、缩约、方言、俗语乃至流行语在课文中随手可拈，它们结合口语的各种特殊的表现形式，使得书中的内容最大程度地贴近生活的真实，从而也让读者一步迈入日本人的日常生活的语境之中。

赵平在日本学习、生活、执教十数年，并长期为名为“Hinabeshi”的杂志担任专栏作者，用日语撰写了大量文章。他对收集日语语言素材极为用心，随时留意那些易被忽视的生活中的语言细节。以此形成了他的文章的特色。著名学者、日本戏剧杂志《幕》的总编伊藤茂教授在为《挑

战日语口语》所写的序文中有这样的话：“我在赵平的文章里感受到他的‘从容’。这种从容孕育着温情与幽默。本书所散发出来的气息，与从他的小说里所感受到的东西是相通的。”

细心的读者或许会注意到，自《挑战日语口语·初级篇》开始，我们给出的练习题在注重口语训练的同时，亦瞄准了日语考试这个目标。即通过做练习，读者不仅能够在听力上，而且能够在“笔力”上得到训练，由此获得的能力可使读者在各种日语考试中取得好成绩。

本书练习中的第6大题是以助词为主的语法概念练习。读者开始不必追求百分之百的正解，先揣摩“说明”中给出的语法概念，然后根据自己的理解将例句分门别类，最后再看参考答案，找出自己做题的差距之所在。通过这个训练，读者能够对日语的助词、形式体言等的特性有一个较为清晰的概念。

翻译和改写是本书新增加的内容。读者可通过这种练习把握汉语翻译和用日语写作的技巧。而且，供翻译的原文和改写的参考答案，也可以作为课外阅读来学习。此外，翻译题原文的生词全部用日语注解，旨在提高读者的日语读解能力，亦为了帮助读者平稳地渡过由使用日汉字(词)典到自由运用各类日本出版的工具书这一难关。

与《挑战日语口语·初级篇》和《挑战日语口语》不同的是，本书课文录音基本上是由非专业人员担任朗读录制的。诵读者既有日本的大学教师和学生、工薪族、商务人员，也有中国人参加。这可算是我们的“创意”。因为我们在日常生活中接触的都是各行各业的普通人，而非专业配音演员，本书配套录音所展现出来的正是普通人的生活化的语言情趣。

浦田千晶的插画，也为本书增添了异彩。

在本书课文和翻译练习原文的创作过程中，得到了春木和子、古贺胜行、伊藤光子、松田加奈、森园良树、前园忠一、福井耕一、山内茂、大桥定顺、永田聪、前田晃一、庄垣内正弘淳子、筑有志等日本友人的大力协助，伊藤茂教授又一次赐序，在此深表谢意！

李 玲

基本语汇词性分类说明

本书词性分类,参照了辽宁人民出版社 1997 年版《新日汉辞典》、商务印书馆 1995 年版《现代日汉大辞典》、光生馆 1982 年版《详解日中辞典》、小学馆 1990 年版《日中辞典》、三省堂 2004 年版《新明解国语词典》、三省堂 2002 年版《大辞林》和岩波书店 2002 年版《广辞苑》。

1. 词性用日本文字表示
2. 一个词兼有两种以上词性时,中间用“·”隔开
3. 空一格表示“成语·熟语·惯用语”
4. 佛——佛教
5. 数——数学
6. 文——文语,古典日语
7. 喻——比喻
8. 俗——俗语
9. 医——医学
10. 心——心理

〔名〕名词

〔代〕代名词

〔形〕形容词

〔形動夕十〕形容动词

〔感〕感叹词

〔副〕副词

〔副助〕副助词

〔接助〕接续助词

〔終助〕终助词

〔連体〕连体词

〔接〕接续词

〔接尾〕接尾语

〔連語〕连语词组

〔複〕复合词、复合词组或习惯搭配及其汉译

〔名十〕名词接「な」作形容动词

〔五〕五段活用动词

〔上一〕上一段活用动词

〔下一〕下一段活用动词

〔サ〕サ行变格活用动词

〔自〕自动词

〔他〕他动词

〔合〕合成词

〔派〕派生词

〔漢造〕汉语造语

发 音 练 习

(朗读:古贺胜行)

本发音练习由演员、配音演员古贺胜行先生朗诵。听过《挑战日语口语》录音的人对古贺先生(录音中扮演老师的角色)的声音一定非常熟悉。古贺先生长年从事演艺和演艺教学,对舞台艺术有着深厚的造诣。他特地为本书录制了演艺界的基础发音练习,希望能对学习《挑战日语口语》系列的读者有所助益。

读者可不考虑句子含义,先反复听录音,直到耳熟能详,然后模仿录音练习发音。念得较为熟练以后,再根据所给的基本词汇解读原文。

诗歌《五十音》按「歴史的仮名遣い」(历史假名)注音。

※日本語の母音

あ・い・う・え・お(A・I・U・E・O)

※日本語の二重母音

や・ゆ・よ(ya・yu・yo) わ・を(wa・wo)

A/a. ^{あいおい}相生。

b. 相生の^{あお}青^{いえ}い家。

B/a. ^{あや}お文^{おや}や^{あやま}親にお謝り。

b. ^{あや}お文^{やおや}や八百屋^{あやま}にお謝りとお言^いい^①。

① 「お言^いい」おっしゃい。「言^いえ」の上品な命令形。

1. ^{あかまきがみ}赤巻紙^{あおまきがみ}青巻紙^{まきがみ}黄巻紙^{なまがわ}に生乾きの^{ながまきがみ}長巻紙。
2. バス、ガス^{ばくはつ}爆発。
3. この^{くい}杭の^{くぎ}釘は^{くぎぬき}釘抜きでも^{ひきぬき}引き抜きにくい。
4. ^{となり}隣の^{たけがき}竹垣に^{あおだけ}青竹の^{たけた}竹立て^{たけた}かけたかったので^{あおだけ}青竹の^{たけた}竹立てかけた。
5. アンリ・ルネ・ルノルマンの^{るろうしや}「流浪者の^む群れ」。
6. ^{しよしやさん}書写山^{しやそうじよウ}①の^{じよウほうそうしよしやさん}社僧正^{きよウ}②、^{きよウ}上方僧書写山、^{きよウ}今日の^{そうじや}奏者は^{しよしや}書写^{しよしや}じゃ^{しよしや}ぞ^{しよしや}書写^{しやそうじよウ}じゃぞ^{しよしや}社僧正。
7. ^{おおつづみ}太鼓と^{こつづみ}小鼓を^{ひとつづ}一包みにして^{こつづみ}小包^だで出した。
8. ^{となり}隣の^{きやく}客はよく^{かきく}柿食う客だ。
9. ^{ほうず}坊主が^{びよウぶ}屏風に^{じよウず}上手に^{ほうず}坊主の^え絵を^か描いた。

基本語彙

1. 相生(あいおい)[名]连理松;(喻)(夫妻)白头偕老
2. 文(あや)[名]人名;(言语的)措辞,(文章的)修辞;花纹,色彩;情节;事物的条理
3. 八百屋(やおや)[名]蔬菜店;学问、技艺等杂乱,不成体统;(转)万事通,多面手
4. 巻紙(まきがみ)[名]成卷的信纸;卷东西用的纸
5. 生乾き(なまがわき)[名]半干,未干透
6. ガス[名](荷兰语 gas 脱 一词)煤气,瓦斯,毒瓦斯;气,气体;(海上、山上的)浓雾;(俗)屁
7. 爆発(ばくはつ)[名・ス自]爆炸;(被压抑的心情等)爆发
8. 杭(くい)[名](打到地下的)桩子,橛子;树的残桩
9. 釘(くぎ)[名]钉,钉子
10. 釘抜き(くぎぬき)[名]拔钉钳子,起钉器
11. 引き抜く(ひきぬく)[五他]拔出,抽出;选拔,挑选;(从别处)拉拢过来,争取过来

① 「書写山」兵庫県姫路市西部の名刹。書写山円教寺。

② 「僧正」僧侶の高位の名称。しかし神社の社が付く「社僧正」という名称は作者の創作か。

③ 「じゃぞ」～だぞ。「～であるぞ」の音便形。

12. 竹垣(たけがき)[名]竹篱笆,竹墙
13. 立てかける(たて掛ける)[下一・他](靠……)戳起来,竖起来,立着放
14. アンリ・ルネ・ルノルマン[名]Henri Rene Lenormand (1882—1951)法国激情派剧作家。作品有《落伍者》、《热风》等。
15. 書写山(しょしゃざん)[名]书写山(位于日本兵库县姬路市)
16. 僧正(そうじょう)[名]神社の僧正(僧官的最高级别)
17. 上方僧(じょうほうそう)[名]寺院の住持,方丈;寺僧
18. 奏者(そうじゃ)[名](乐器)演奏者;(古)上奏者,奏言者;(日本古代武士家中的)传话人
19. 書写(しょしゃ)[名・サ他]书写;(日本中小学的)习字课
20. 太鼓(おおつづみ)[名](日本古典剧“能乐”用的)大鼓
21. 小鼓(こつづみ)[名]小鼓,腰鼓
22. 包み(つつみ)[接尾](用在基数词之后,表示数量)……包
23. 小包(こづつみ)[名]小包裹
24. 坊主(ぼうず)[名](俗)剃光了头,秃头(的人);(寺院的)住持;僧,和尚

※五十音

きたはらはくしゅう
北原白秋 ①

あめんぼあか
水馬赤いな。ア、イ、ウ、エ、オ。

うきも こえび
浮藻に小蝦もおよいでる。

かき き くり き
柿の木、栗の木。カ、キ、ク、ケ、コ。

きつつ き か
啄木鳥こつこつ、枯れけやき。

さ さ げ す
大角豆に醋をかけ、サ、シ、ス、セ、ソ。

うおあさせ さ
その魚浅瀬で刺しました。

① 「北原白秋」日本国民的詩人、歌人。(1885~1942)童謡「この道」「からたちの花」「砂山」「あわて床屋」など多数。

立ちましょ、^{らっぱ}喇叭で、タ、チ、ツ、テ、ト。

トテトテタッタ^①と^{とびた}飛立った。

^{なめくじ}蛞蝓のろのろ、ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ。

^{ななど}納戸にぬめって、なにねばる。

^{はと}鳩ぽつぽ、ほろほろ、ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ。

^{ひなた}日向のお部屋に^{へや}や^②笛を吹く。

^{まいまい}蝸牛、^{ねじまき}螺旋巻、マ、ミ、ム、メ、モ。

^{うめ}梅の実落ちて^みも^みしまい^③。

^{やきぐり}焼栗、^{ぐり}ゆで栗。ヤ、イ、ユ、エ、ヨ。

^{やまだ}山田に^ひ灯のつく^{よい}宵の^{いえ}家。

^{らいちよう}雷鳥は^{さむ}寒かろ、ラ、リ、ル、レ、ロ。

^{れんげ}蓮花が^さ咲いたら、^{るり}瑠璃の^{とり}鳥。

① 「トテトテタッタ」ラッパの擬音語。

② 「にや」「には」の音便形。

③ 「見もしまい」「見ないだろう」の強調。決して(誰も)見ることもしないだろう。見るはずもない。「動詞の連用形+も(は)+打ち消しの助動詞」は、打ち消しの強調を表わす文型である。

わい、わい、わっしょい^①。ワ、井、ウ、エ、ヲ。

うきや むどが まつり
植木屋、井戸換え、お祭だ。

基本語彙

1. 水馬(あめんぼ)[名]水马,水龟,水虎子,划船虫
2. 浮藻(うきも)[名]浮藻,浮萍
3. 枯れ(かれ)[名]〔「かれる」的名词化〕枯萎,凋零,干瘪
4. けやき(櫻)[名]光叶榉树
5. 大角豆(ささげ)[名]豇豆
6. 浅瀬(あさせ)[名](海、河等)水浅的地方,浅滩,暗滩,沙滩
7. 刺す(さす)[五他]刺,扎;撑(船)
8. 飛び立つ(とびたつ)[五自](鸟、飞机等)飞上天空,起飞;飞去,飞走,飞散;(感情激动得)不能平静
9. 蛞蝓(なめくじ)[名]蛞蝓,蜒蚰(俗称鼻涕虫)
10. のろのろ[副・サ自]迟缓,慢吞吞地
11. 納戸(なんど)[名]储藏室,藏衣室
12. むめる(滑る)[五自]光滑,滑溜,发滑;化妆,打扮,装饰;游逛
13. ねばる(粘る)[五自]发粘;坚持,坚韧,有耐性
14. 鳩ぼつぼ(はとぼつぼ)[名](幼儿语)鸽子
15. ほろほろ[副]雉鸡、小鸟等的鸣声;物散落貌
16. 日向(ひなた)[名]向阳处,朝阳的地方
17. 蝸牛(まいまい)[名]〔「まいまいつぶり」的略语〕蜗牛
18. 螺旋卷(ねじまき)[名]上发条;螺丝刀
19. 山田(やまだ)[名]山地中的田,山谷里的水田
20. 宵(よい)[名]傍晚,黄昏,天刚黑;夜晚,夜里
21. 雷鳥(らいちょう)[名]雷鸟
22. 蓮花(れんげ)[名]莲花,荷花;(喻)指,趾
23. 瑠璃(るり)[名]琉璃(古时的玻璃),蓝宝石
24. 植木屋(うえきや)[名]花匠,园丁;买花人;花店
25. 井戸換え(いどがえ)[名・サ自](维护水井的)挖井,淘井

① 「わい、わい、わっしょい」「わっしょい」は、祭りの神輿(みこし)を担ぐときの掛け声。「わい、わい」は、わいわいがやがやと賑やかな人の喧騒と「わっしょい」へ繋ぐための音の面白みを出した。

目 录

序	伊藤茂	i
前 言		v
基本语汇词性分类说明		vii
发音练习		ix
第 1 课 負けず嫌い		1
第 2 课 藪蛇		11
第 3 课 豆沙包、その他		22
第 4 课 変換ミス		31
第 5 课 副業(一)		43
第 6 课 副業(二)		53
第 7 课 ニュアンス		62
第 8 课 空き巣		73
第 9 课 ヤク中		83
第 10 课 省略		97
第 11 课 日本料理(一)		110
第 12 课 日本料理(二)		122
第 13 课 サンタクロース		134
第 14 课 病院の名前		145
第 15 课 礼儀作法		157
第 16 课 携帯電話		169

第1課 負けず嫌い

本课的位相设定为两个中学生的对话,因为是同学,对话显得轻松随便,使用的均为常体。如果我们让两个中学生在亲密而随意的交谈中使用敬体,那会显得极不自然。

中尾的弟弟走失了却硬说成是妈妈走失了。中村的爷爷从手脚架上摔下来却硬说成是自己跳下的。谈话围绕着这两件事展开。

会 話

中尾(女性 中学生)

中村(男性 中学生)

中村 中尾の弟って、確か十歳だっけ。

中尾 ううん。まだ五歳よ。

中村 まだ五歳かー。結構あいてるよな。

中尾 ええ。性格も全然違うわ。

中村 ヘエ? アッ、わかった。弟は中尾と反対で、腕白なんだろ?

中尾 ん?、っていうか、どっちかというと、負けず嫌いかな。

中村 ふうん。

中尾 たとえばね、この間、弟がデパートで迷子になったのよ。お母さんが必死で探していたら、館内放送が入って、「こうじ(幸司)君のお母さんが迷子になっています。こうじ君が待っておられますので、一階インフォメ

1. 負けず嫌い(まけずぎらい) [名ナ] 不认输(的人), 硬不服输(的人), 好强, 好胜
2. 腕白(わんぱく) [名・形動ダナ] 淘气, 淘气包
3. 迷子(まいご) [名] 迷路的孩子, 走丢的孩子; (转) 失踪, 下落不明
4. 必死(ひっし) [名・形動ダナ] 拼命, 殊死; (象棋) 一定将死
5. 館内(かんのい) [名] 馆内, 店内
6. 放送(ほうそう) [名・サ他] 广播, 播放
7. こうじ(幸司) [名] 人名